

《Lesson 6》 可算名詞の「複数形」

複数形 = 名詞の最後に **s** または **es** を足す

【s を足す場合】

・大部分の名詞は、複数形にする時、語尾に **s** をつける。

＜例＞ (何匹かの) 犬 = dogs
(何冊かの) 本 = books

【es を足す場合】

・単語の最後の文字が、「**s, o** (*ただし「子音+o」のみ), **x, sh, ch**」の時。

覚え方 「ソックス(sox)をシュツチュ(sh, ch)と洗う」

＜例＞ (何台かの) バス = buses (buss = ×)
(何個かの) ジャガイモ = potatoes (potatos = ×)

語尾が「子音+o」であっても、es ではなく s が足される場合もある。

＜例＞ ピアノ = pianos (pianoes = ×)
写真 = photos (photoes = ×)

【例外の理由】

(1) 英語ではもともと長い単語が短くされた場合は、語尾が「子音+o」であっても複数形は **s** をつけることが多い。

piano → pianoforte が短くされた形
photo → photograph が短くされた形

(2) 外来語(元々がイタリア語など)は、語尾が「子音+o」であっても複数形は **s** をつけることが多い。

soprano (ソプラノ歌手)の複数形 = sopranos (sopranoes = ×)

・単語の最後の文字が「**子音+y**」の時は、**y → i**にして **es**

＜例＞ (いくつかの) 国 = countries (countrys = ×)
(何人かの) 赤ちゃん = babies (babys = ×)

【例外の形】

	単数形	複数形
パターン 1: 魚	fish	fish
パターン 2: ナイフ	a knife	knives
パターン 3: 男性	a man	men

パターン 1 = 単数形と複数形が同じ形

<他の例> a sheep → sheep (羊)

パターン 2 = 単語の最後が **-f** や **-fe** の時 → **-ves** にする

<他の例> a wolf → wolves (オオカミ)

パターン 3 = 基本的に不規則な形。暗記するのがベスト!

<他の例> a child → children (子供)

【複数形の名詞に形容詞を足す場合(形容詞＋名詞)】

・複数形の名詞に形容詞をつける場合、s/es を足すルールは、**通常通り名詞の最後に注目**。

<例> 新しい生徒たち → new students

黒色の腕時計(複数形) → black watches

悪いお話(複数形) → bad stories

【「所有格」「these/those(これらの/それらの)」「数詞(one/two/three)」が入る形】

・「数詞」が入る場合 = 「数詞＋形容詞＋名詞」

<例> 2つの黒色の腕時計 → two black watches

・「所有格」が入る場合 = 「所有格(＋数詞)＋形容詞＋名詞」

<例> 私の2つの黒色の腕時計 → my two black watches

・「these/those」が入る場合 = 「these/those(＋数詞)＋形容詞＋名詞」

<例> これらの2つの黒色の腕時計 → these two black watches

注意: 「所有格」と「these/those」は基本的に同時に使われない

<例> these my pens = × your those two books = ×

【問題 1-8】 を解いていきましょう!